※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	自動車実習	単位数	８単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車整備の実技を専門的に行う整備士となることができるような実習を行う。

2　学習の到達目標

自動車のエンジン、シャシの各装置の基本的な整備ができることを念頭に、自動車の構造・機能に関する工学的な知識をつけ、それを基に技術を身につけていく。それらを活用して、自らの判断や思考により、課題を解決していく。さらに課題を解決した経験を基に意欲的に探究を行い、次の課題解決へ役立てる能力と姿勢を身に付ける。最終的に３級自動車整備士試験に合格できる力をつけることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車整備実技の基本的な構造・機能に関する技能を習得する。	自動車整備実技に関する知識や技術に課題等を見つけ、自ら思考・判断し、創意工夫して問題解決する能力を身に付ける。	自動車整備実技に関する基本的な知識や技術に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身に付ける。実際に活用できる能力と態度が身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	シャシ実習	ボデーとフレームについて フレームの形状と構造 ボデー各部の構造	a: シャシを理解し、正確に実習を行うことができるか。整備士の試験問題で活用できるか。 b: 場面ごとに正確な工具を選択し、正確な手順で使用できるか。 c:知識をもつことに、意欲的になっているか。	実習状況の観察 課題プリント	観察 課題プリント	学習状況の観察 自己評価
	基本計測実習	国際単位 測定誤差 測定値の処理 ノギス測定 ダイヤルゲージ測定 マイクロメータ測定 シリンダゲージ測定	a: 計測を理解し、正確に測定機器を取り扱うことができるか。整備士の試験問題で活用できるか b: 単位を認識し、正確に理解・表記・測定機器を選択をする力が身に付いているか。 c:知識をもつことに、意欲的になっているか。	実習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 自己評価
	機械工作実習	旋盤作業	a: 旋盤を理解し、正確に実習を行うことができるか。 b: 図面・条件・材料を見て加工工程や切削条件を考える力が身に付いているか。 c:知識をもつことに、意欲的になり実習へ取り組むことができるか。	実習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 自己評価
	電装実習	半導体 コンデンサ、抵抗、ヒューズについての学習 サーキットテスタ、オシロスコープの使い方 バッテリについての学習	a: 電装を理解し、正確に実習を行うことができるか。安全面について配慮することができるか。 b: 電気の危険性を考慮し、作業に取り組む判断力が身に付いているか。 c:知識をもつことに、意欲的になり見えない物の危険性を理解したか。	実習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 自己評価

※令和４年度以降入学生用

後期	エンジン実習	工具の使い方 ねじについての学習 分解前の点検 エンジン分解 測定、調整、修理 組立、始動	a: エンジンを理解し、正確に実習を行うことができるか。整備士の試験問題で活用できるか。 b:部品の精密さを理解し、適切な工具・方法で分解・組み立てを行う力が身に付いているか。 c:知識をもつことに、意欲的になり、創意工夫を凝らして作業に取り組む事ができるか。	実習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 課題プリント	学習状況の観察 自己評価
	シャシ実習	動力伝達装置の点検、分解、組立、調整、検査 カウル ボデー	a: シャシを理解し、正確に実習を行うことができるか。整備士の試験問題で活用できるか b: 複雑な構造を理解し、作業工程を考えて組み立てを行う事ができるか。 c:知識をもつことに、意欲的になり、創意工夫を凝らして作業に取り組む事ができるか。	観察 課題プリント	観察 課題プリント	観察 課題プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度